

特定非営利活動法人とりで 苦情受付 総括


令和2年度	① そなえ ②ゆめじ ③のぞみ ④いちご ⑤ のどか ⑥めぐり
件数	6件

番号	月日	種別	内容	要望	結果	第3者委員
1	6月6日	③	<p>・夜、ドンドンという音が聞こえてきて寝られないので静かにしてほしい。</p> <p>・事務所の電気が夜遅くまで点灯しており、気になって寝られない。</p> <p>以上、近隣の方より苦情を受けた。</p>	<p>・夜は静かにしてほしい。</p> <p>・夜遅くまで明かりをつけたくない。</p>	<p>・地域の方には謝罪を受け入れて頂いた。</p> <p>・今回のことを聞き、子どもたちは反省したようで夜は静かに過ごそうとしている様子が見られた。</p> <p>・地域との共生の在り方と自分たちの行動を見直すいい機会となった。</p>	報告なし
2	6月16日	②	<p>・夜、ドンドンという音が聞こえてきて寝られないので静かにしてほしい。</p> <p>以上、近隣の方より苦情を受けた。</p>	<p>・夜は静かにしてほしい。</p>	<p>・近隣の方には謝罪を受け入れて頂いた。</p> <p>・今回のことを聞き、該当する子どもは不満そうにしながらも指導を素直に聞</p>	報告なし

				<p>は無いと思うが洗濯等、注意喚起をする事、職員も近隣にご迷惑を掛けない事は心掛けており、今後無いように注意していくが、何かあればまた直ぐに教えていただきたいとお伝えした。</p> <p>・当日夜に子どもたちにはゴミ捨てが無い事の確認、洗濯物をしっかり止める様に助言済み。</p>	
--	--	--	--	---	--

第三者委員総括

内容：原付の騒音については、気になる方はいるかもしれない。地域と折り合って生活できることが子どもの成長となる。ゆめじの苦情が多いが、これは10代後半の子たちばかり生活しているなら想定できること。この子たちが地域からの苦情を受け入れていけることが成長に繋がる。地域の方々に自発的に挨拶できるようになれば良い。ゆめじの苦情件数の変化は毎年、注意してみていく必要がある。

第三者委員 氏名 (平岡 龍一 郎) 
(山本 智美) 